



きたおか こうむてん
北岡工務店 ニュース

3月26日(土)、雪にもかかわらず、『**第4回 とんかち祭り**』にたくさんのご来場下さいまして誠にありがとうございました。

とんかち祭りはチャリティセールのため売上の一部を善意銀行へ寄付を致しました。(3月29日北日本新聞記載) スタッフ一同より御礼申し上げます。

さて、今月は**日本建築の材料として代表される木材**と**西洋建築でよく使われる石材**についてお話しします。**全く違う建築文化ですが、以外にも共通点があると考えています。**

特に古建築と呼ばれる分野の建築物は、デザイン等は異なりますが、その中に何ともいえない共通の感動があるように思えます。

それは、何でしょうか？

材料の持つ迫力

和と洋。木の文化と石の文化。

異なる文化ですが、建築物に共通していることは、それぞれの文化を代表する**材料が内外から丸見えだということ**です。材料、しかも現在では採集が困難と思われるような、大木や大石が、見る我々の眼に飛び込んできます。

さらに**手間を惜しまない彫刻**があります。その彫刻も単なる装飾ではなく宗教性が強いものがほとんどです。そしてそのデザインや形には一定のルールがあります。(私は宗教上の係りが大きいと考えています。)

現在はそのルールから逸脱したデザインが、斬新だというような風潮がありますが、私はそうは思いません。なぜならそのルールを知らずしてデザインしている物があまりにも多いのです。

自然の材料の持つ迫力が、私たちの感動(気)を与えてくれているような気がします。

皆様も日本・西洋に関係なく、古建築を見学したり、触れる機会がありましたら是非、その『良気』を感じて下さい。今までと違う建物見学になるはずです。



※ 現在は、コンクリート打ちっ放しがよく見られます。これも材料を素のまま見せる構造体ですが、**コンクリートという人工物の為、時間が経過した建物は時間に比例して朽ちていきます。**

木・石は時間が経てば経つほど、その味わいは増す為、その点においても優れているのではないのでしょうか。

構造体が美しい

古建築の美しさは、何と言っても構造体ではないでしょうか。構造体そのものを美しく見せるデザインにしている点が共通です。

すべての入り組んだ形は構造を強くする為のものであり、無駄な要素が何一つないのです。それは単なる見た目のよさを求めた『装飾』とは全く異なる美しさです。



ガウディという建築家をご存知でしょうか？ スペインはバルセロナの『サクラダファミリア』（現在も建築中）が有名です。

手の掛けた建築は、あの独特な装飾ばかりが取り上げられますが、あの形は決して『装飾』ではなく、非常に理にかなった『構造体』であるのです。

日本建築においても屋根形状の緩やかな曲線、柱の微妙な丸みがありますが、装飾とは違います。木材の特徴を活かし、柔らかく上からかかる重量を受け止めているのです。

木には木の、石には石の性格があります。さらに木材一本、石一つそれぞれに個々に性格があります。そこで知っておいていただきたい事は、それらの一つ一つを組み上げて大きな一つの建築物に仕上げる職人の技術です。その技術は表面からは絶対に見えません。しかし隠されたところに、鳥肌の立つような工夫が施されているものです。

紙面ではその技術を伝えることは出来ませんが、いくつか機会を設け、皆様に見ていただける工夫を考えます。

なぜそのようなすばらしい建築ができるのか？ それは、『建築家』が全ての責任を請け負ったからです。その建築家は『技能者』でもあり、『設計者』でもあるのです。

現在の『建築士』とは異なり、設計図面、現場監督、予算管理全てに責任をもつ人間が建築家です。

私たちも建築家になれるように頑張ります。

北岡工務店は木材が大好きです。これからも木材をふんだんに使った『木の家』を造っていきたいと思います。

有限会社 北岡工務店

ご質問は
建設マスター
北岡好夫まで！

930-0916 富山市向新庄町8丁目4番56号

Tel 076-451-5262 Fax 076-451-4325

携帯番号 090-3764-9328 (北岡)

ライフガード 代理店

E-mail kitaoka@sirius.ocn.ne.jp

URL <http://kitaoka-k.com/>

防災・防犯フィルムのお見積りは随時無料です。
どうぞお気軽にご相談下さい！